

令和7年度 米百俵プレイス ミライエ長岡 互尊文庫の取り組み

<目的・概要>

気軽に誰でも利用でき、にぎわいを創出する

- にぎわいの創出
- 様々な世代に対応した多様な学習や交流の機会を提供します。
- 快適で利用しやすい環境づくりに努めます。

<取り組みごとの内容・評価・課題>

1 コラボ展示・ひとりじかん in ミライエ長岡

コラボ展示	ひとりじかん in ミライエ長岡
 <p style="text-align: center;">▲科学博物館とのコラボ展示</p>	

<実績・予定>

• コラボ展示

各課の課題や、市内のイベントに関係したテーマコーナーを設けて市民の意識醸成やイベントの魅力伝える。科学博物館の企画展「なつかしのおかしとおさべ菓子店」との協力展示を行った。アオーレ長岡のドイツフェストやクリスマスマーケットとのコラボ展示も行った。

• ひとりじかん in ミライエ長岡

好評であったひとりじかん in ミライエ長岡は回数を増やし2か月に3~4回のペースで開催する。施設内でお子さんを預かり、子育て中の方に館内でゆっくりとする時間を提供する。参加者は本を読んだり、くつろぎながらカフェのコーヒーを飲み自分だけの時間を楽しむことができる。希望者には互尊文庫の利用周知と促進のためブックツアーを行っている。

<課題・今後の方針>

- 新鮮な資料を収集し、時期にあったテーマコーナーの展示を行いたい。
- 子育て中の方の利用のニーズは多く、利用しやすい時期などを探りながらサービスを提供したい。

<目的・概要>

気軽に誰でも利用でき、にぎわいを創出する

- ・利用者ニーズを把握します。

<取り組みごとの内容・評価・課題>

2 市民インタビュー・利用者アンケート

市民インタビュー（中高生向け）	利用者アンケート
 <p>市民インタビュー（中高生向け）</p> <p>本について語って、 図書館をもっと 楽しい場所にする。</p> <p>2023 8/4 [月]</p> <p>インタビュー 幅 允孝 (はば・よしたか) 有限会社BACH代表/ブックディレクター 人と本の距離を縮めるため、公共図書館や病院、学校、ホテル、オフィスなど様々な場所でライブラリーを制作。安藤忠雄氏の建築による、ことのための図書文化施設「エドモンの集 中之島」では、タライエタムブックディレクションを担当。またNHKで放送した「理想的本棚 書店だけのブックガイド」では「理想的本棚」選書家として出演。</p> <p>ご参加いただいた方には、感謝の気持ちとして図書カード(1,000円分)をお渡しします。</p> <p>内容:グループ単位でインタビューより、普段の本との接し方や興味や関心をリクエストした書架などで参加者の声に回答していきます。</p> <p>会場:ミライエハウス(ミライエ長岡)※互尊文庫</p> <p>対象:長岡市在住・在学の中学生・高校生</p> <p>参加費:無料 定員:50名程度</p> <p>申込締切:7月21日(月)17:30まで 問合せ先:互尊文庫カウンターTEL:0258-35-7981</p> <p>こちらのQRコードから、申込フォームにアクセスの上お申し込みください。申込フォームからアクセスできない場合は、問合せ先までご連絡ください。</p> <p>長岡市立互尊文庫 MIRAI E HOUSE MIRAI E NAGANO 互尊文庫 GOSHON BUNKO</p>	 <p>ご協力いただいた方には記念品をプレゼント</p> <p>互尊文庫利用者アンケートにご協力をお願いいたします</p> <p>https://logoform.jp/form/PSEF/1159138</p> <p>▲ 回答はこちらから ▲ 回答期限：8月31日(日)まで</p> <p>いただきましたご意見をもとに 今後のサービス向上に努めてまいります</p> <p>長岡市立互尊文庫</p>

<実績>

- ・中高生向け市民インタビュー 中高生の興味・関心や求める図書を知るために開催した。令和7年8月4日(月)に3回開催 合計12名の参加があった。参加者からは「自分が司書だったら置きたい本とその理由」と「図書館に求められる空間、配架方法、サービスに関する意見」を聞き取った。配架方法など魅力的に感じているご意見と同時に、自習目的の利用者と読書目的の利用者が互いに気兼ねなく過ごせるような空間づくりについての要望をいただいた。
- ・利用者アンケート 初めて利用者アンケートを行い76名の方から回答をいただいた。資料面では「充実している」、「とても充実している」と感じる方が約7割という結果であった。窓口対応についての回答は、セルフ貸出・予約のため窓口対応を受けていない方が1割、「よい」、「とてもよい」と感じる方が7割を超えた。

<課題・今後の方針>

- ・引き続きニーズを把握し市民の図書に関する興味・関心を伺う機会を設け蔵書構築につなげていきたい。

<目的・概要>

利用者ニーズを反映した資料を取り揃え、いつ来ても楽しむことができる空間づくりを行う

- ・積極的な広報活動、情報発信に努めます。
- ・ICTを活用したサービスの提供でサービスの効率化と利便性の向上を図ります。

<取り組みごとの内容・評価・課題>

Instagramでの発信



▲ 12月26日投稿 暖かい料理のレシピを紹介する

ICTを活用した貸出・返却・予約



▲自動貸出機



▲予約本コーナー

<実績>

・Instagramでの発信

互尊文庫Instagramを活用して、イベントや本の紹介を続ける12月末時点で約1,290の方が互尊文庫をフォローしている。

・ICTを活用した貸出・返却・予約

R6年2月1日に貸出を開始。貸出機のトラブルも少なく、年配のユーザーであっても予約受取り、貸出、返却をすべて自分で行うことのできるシステムを便利に使用している。

<課題・今後の方針>

- ・若年層へ向けた情報提供として、引き続きInstagramを投稿し、積極的な広報に努めたい。
- ・ICTを活用し利便性が高くプライバシー保護にも配慮した互尊文庫のサービスを発信し利用につなげたい。